

春になって気温が上昇すると牛舎内の湿度が上がり病原菌が増殖しやすくなります。前月と比較して体細胞数が高くなっている牛はいませんか？。検定成績表では、個体の体細胞数の数字の前に△マークがついている牛は28万3千個/ml以上、▲マークがついている牛は113万2千個/ml以上を示しています。このような牛からのサインを見逃さないことが肝要です。

この時期でも泌乳ピークの牛は採食量が追いつかず痩せていきます。飼槽・水槽内の残飼や汚れは定期的に取り除き、清潔に保って、採食量の確保に努めましょう。また、給餌回数や餌寄せ回数を増やすと採食量が高まることが知られています。

そうすれば、栄養の充足から乳牛自身の免疫能力が増進し、乳房炎起因菌に対する抵抗力が高まるでしょう。

また、換気を十分おこなって畜舎内の乾燥化を図ることも、病原菌の増殖を抑える効果があります。

春になって気温が上昇すると牛舎内の湿度が上がり病原菌が増殖しやすくなります。前月と比較して体細胞数が高くなっている牛はいませんか？。検定成績表では、個体の体細胞数の数字の前に「#マーク」がついている牛は30万個/ml以上を示しています。このような牛からのサインを見逃さないことが肝要です。

この時期でも泌乳ピークの牛は採食量が追いつかず痩せていきます。飼槽・水槽内の残飼や汚れは定期的に取り除き、清潔に保って、採食量の確保に努めましょう。また、給餌回数や餌寄せ回数を増やすと採食量が高まることが知られています。

そうすれば、栄養の充足から乳牛自身の免疫能力が増進し、乳房炎起因菌に対する抵抗力が高まるでしょう。

また、換気を十分おこなって畜舎内の乾燥化を図ることも、病原菌の増殖を抑える効果があります。